

2024年度ICT利用による教育改善研究発表会発表一覧(28件)

*発表は3会場から配信します。

*研究発表者名は発表代表者を掲載しています。

(敬称略)

	発表時刻	発表番号	発表題目	研究発表者	大学名
A 初学、分 野横、 断S D G S、 幼 児初 等中 等、	13:00	A-1	多人数授業で初年次学生が「学び直し」と「学びほぐし」を共に追究する学習環境の工夫	山口 好和	北海道教育大学
	13:20	A-2	Moodleを活用した入学前教育	斉藤 幸一	大阪電気通信大学
	13:40	A-3	生成系AIによる数理科学の社会的浸透力醸成：他分野の考察を含むPDCAの早送り化	金子 宏	東京理科大学
	14:00	休 憩			
	14:10	A-4	生成AIやメタバースを活用した授業に関する研究	矢作 信行	帝京平成大学
	14:30	A-5	プログラミング学習における音読の有効性に関する検討	上田 麻理	神奈川工科大学
	14:50	A-6	プログラミング教育を通じた学生同士の学びの「場」の創出への取り組み	山脇 香織	淑徳大学
	15:10	休 憩			
	15:20	A-7	ハイフレックス方式によるPC操作を伴う演習授業の成果と課題	真弓 英彦	名古屋芸術大学
	15:40	A-8	理工系各学科へ進学希望学生達の効果的なプログラミング教育：反転授業導入と教案活用	金 炯秀	日本大学短期大学部
16:00	A-9	ハピネスを可視化する活動を通じた学修意欲の向上に向けた取組	中村 太戯留	武蔵野大学	
B 情 報 専 門 、 工 学 、 農 学 、 社 会 科 学 、 医 療	13:00	B-1	オープンソースを活用したオンライン授業支援	柏木 孝仁	久留米大学
	13:20	B-2	救急看護領域のノンテクニカルスキル習得と臨床実践への関心を刺激するVR看護教育	大田 博	福岡大学
	13:40	B-3	Web小テストによる学習習慣の改善	田中 雅章	愛知医療学院大学
	14:00	休 憩			
	14:10	B-4	薬学部低学年を対象としたICT活用型学習システムの構築とその教育効果	石嶋 康史	鈴鹿医療科学大学
	14:30	B-5	基礎看護学の授業における多方向同時型デモンストレーション動画教材活用の学習効果	岡田 朱民	佛教大学
	14:50	B-6	LMSを活用した反転学修：学修時間向上の戦略と評価	丹野 嘉信	東京情報デザイン専門職大学
	15:10	休 憩			
	15:20	B-7	数理系演習科目におけるランダムEドリルとランダム紙課題の有効性の比較と検証	土谷 洋平	神奈川工科大学
	15:40	B-8	Podcastを活用したマルチモーダル予習による主体性と共創力の向上効果	橋 完太	工学院大学
16:00	B-9	オンデマンド授業により開示された学生の講義理解と相互理解	山下 東子	大東文化大学	
16:20	B-10	アイトラッキングを使ったICT教材によるコロナ禍以降の実験教育での効果	岩淵 範之	日本大学	
C デ ー タ 、 サ イ エ ン ス 、 キ ャ リ ア 教 育 系 、 そ の 他	13:00	C-1	ICTを用いた日本語能力測定とその効果	尾本 康裕	城西国際大学
	13:20	C-2	努力を促し思考問題の解決能力を向上させる思考力向上トレーニングの学習効果	吉川 武憲	近畿大学
	13:40	C-3	ICTを活用した事前質問集と振り返りレポート集の作成・共有による教育効果の向上	庄司 一也	帝京平成大学
	14:00	休 憩			
	14:10	C-4	情報とデータサイエンスの授業におけるメタバースを活用した教育効果の実証	加納 久子	明海大学
	14:30	C-5	基礎化学実験のLMSを活用したデータサイエンスの取り組み	小池 裕也	明治大学
	14:50	C-6	市販のLMSによる振り返りを利用したメタ認知による成長の促進	小林 志好	東京都市大学
	15:10	休 憩			
	15:20	C-7	地域課題解決型AI教育プログラムにおける産学連携PBLの効果	小田 まり子	久留米工業大学
15:40	C-8	観光学習のための没入型シミュレーションの展開と効果	ハーキンソン エリック	京都外国語大学	
16:00	C-9	海外協定校連携科目群の構築による国際教育推進	関口 幸代	明治学院大学	